



# おおみなみ

笑顔あふれる 大南

～自分もよく、相手もよく、みんなもよく～



令和6年度  
練馬区立大泉南小学校  
校長 田村 亜紀子  
令和6年 4月 8日  
Tel03-3922-1371

## 「ご入学・ご進級 おめでとうございます」

校長 田村 亜紀子

桜の花が、入学や進学にあわせたように咲き誇り、春の訪れを喜んでいきます。お子様のご入学・ご進学、誠におめでとうございます。令和6年度は、新しく106名の新入生を迎え、625名の児童とともに、新年度をスタートしました。

本校では、「児童一人一人の知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、豊かな人間性を培い、主体的に生きる児童の育成」を目指して、「よく考える子 思いやりがある子 たくましい子」を学校目標に掲げています。この目標に向けて、「笑顔あふれる 大南 ～自分もよく 相手もよく みんなもよく～」を合言葉に、教育活動を推進してまいります。

学校は、子供たちにとっては大きな「社会」です。子供たちなりに、この社会の中で、楽しんだり喜んだり、時には苦しんだり悩んだりします。それは、周りとの様々なかかわりの中でおきる自分の中の感情の変化です。それが友達や先生、おうちの方などの「人」との関係かもしれません。学習や遊びなどの中の「できごと」に対してかもしれません。咲き誇る花や心を震わせる本などの「もの」への思いかもしれません。いずれにしても、相手に対して、自分の感情が良い方向へと動いたときは「楽しい、嬉しい」といったプラスの感情に包まれます。一方、自分が納得いかない方向に動いたときは「苦しい、悲しい」とときには怒りや嫌悪といったマイナスの感情が生まれます。

「自分」が生きていく上で、プラスの感情でいることは、精神的な安定の第一歩です。しかし、「社会」で生きていく以上、自分だけがよいわけにはいきません。自分にとってのマイナスの感情に「折り合い」をつけ、双方が相手との関係に一定の納得をつけていかなければ、社会は成り立ちません。まずは、目の前の相手に思いを馳せ、「自分はいいけれど、相手も大丈夫かな？」と考えることが大切です。そして、「目の前の相手」から少しずつ目を広げ、自分が所属している集団（学級や学年、学校）についても考えられることが必要になっていきます。「自分もよく 相手もよく みんなもよく」とは、そういった子供像を示しています。

今年度は、それぞれの教育活動が子供たちにどのような力を育むのか、そして、子供たち自身が「なりたい自分」をどのように見付けていくのか、といった展開を考えていきます。そのため、校内の研究を昨年度に引き続き、道徳と特別活動を中心に据え、子供たちの心を育む教育活動を中心に進めてまいります。なお、練馬区教育課題研究指定校として発表するとともに、全国道徳特別活動研究会の会場校として、令和7年1月25日に、本校の授業実践を広く多くの先生方に公開します。

子供たちにとってよりよい教育活動となるよう、職員一丸となってよりよい教育活動を推進してまいります。今年度も、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

4月の生活目標 きまりを守って安全に生活をしよう